

なんかい、107号

2017年 8月1日発行

南海寮 広報委員会
熊本県天草市本町下河内1685番地の1
TEL 0969-23-3850
FAX 0969-22-4977
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp
URL http://www.nankairyuu.or.jp/

歩いて通勤・通所するスタッフと利用者さん (本誌5ページに記事掲載)



施設内研修

いつまでもおいしく

人生最後の食事は、何を食べたいですか？

あれこれとご馳走を思い浮かべますが、出来れば、最後の日まで、口から美味しく食べたいと、誰しも願うのではないのでしょうか。

今回、施設内研修会で「嚥下障害の実際と支援について」というテーマで、看護師と栄養士から発表させていただきました。当施設においても、高齢化に伴い、嚥下障害をお持ちの利用者も増えてきました。嚥下障害とは食べ物や飲み物を摂る時にむせたり、気管へ入って肺炎になったりする事です。発表内容として、嚥下障害とは何なのか？嚥下のメカニズムは？適した食事形態はどういったものなのか？嚥下食はどういう種類があり、どうやって作っているのか？など説明し、次に当施設で行った嚥下内視鏡検査の実際の映像をみていただきました。これは、長崎大学から口腔外科の医師において頂き、嚥下障害が疑われる方が実際に食べ物を飲み込む動作を内視鏡（カメラ）を使って撮影し、診断した映像です。その後、ミキサー食の試食

を行いました。介助する人とされる人に分かれ、食事介助をされる人の気持ちを体験してもらいました。体験者からは「ペースト状である為、説明が無いと何を食べているか分からない」、「一回の量が多いとなかなか飲み込めない」、「嘔まずに飲み込むと喉に詰まりそうになる」、「粥や魚は口の中に残りやすく、食後に水分で流し込むことが必要」、などの感想が聞かれました。障害者施設では障害特性として食べ物を嘔まずに丸飲みする方、口いっぱい詰めて込んでしまう方などに誤嚥窒息する危険性があります。日常の食事であっても、常に事故に繋がるということを再確認し、今後の支援に活かしていけたらと思います。皆様にとって、食事がいつまでも楽しみとなりますように――。

管理栄養士 田中 佳子



開口障害のある方の食事摂取と介助を疑似体験（口角にテープを貼り開口を制限）

ソーシャルワーカーに必要な 資質と役割

支援員 井上 千恵美

「これから求められる相談支援の展開と質の向上に向けた研修のあり方」についてNPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク理事長・富岡貴生氏の講演を聞いてきました。

相談支援専門員が目指すものは、障害者児者の自立の促進と共生社会の実現に向けた支援を实地する。ソーシャルワーカーの担い手としてスキルと知識を高めつつ、インフォーマルサービスを含めた社会資源の改善及び開発、地域のつながりや支援者・住民との関係構築や生きがい希望を見出す等の支援を行う事として、相談支援の質の向上に向けた検討会にて話し合いが行われているとの事でした。相談支援専門員に求められる資質として

者の生きがいや希望（意思決定支援）などが必要であるとの事でした。

私の現在の業務としては入所や通所されている利用者の方々の支援が中心であり、相談支援業務については直接従事しているわけではありませんが、今回の研修で話しを聞き、ソーシャルワーカーに必要な資質や役割について改めて勉強させて頂きました。

私達の施設でも地域の方より相談があった場合は、相談支援専門員と連携して福祉サービスにつなげたり、公的制度化の活用、関係機関との連絡調整、自法人で実施しているサービスでの受け入れ等を行っています。このように日頃から入所されている方に限らず地域の方々と接する機会も増えており、様々な方と関わる事で職員はもちろん、入所されている方にも良い刺激となっているように思います。今回の研修にて学ばせて頂いた考え方をきちんと実践していき、新規で利用される利用者さんにも南海寮って素敵な所だな、また来たいな。と思ってもらせるように、より充実した生活の実現の担い手になればと思います。

利用者の「生きる」を支える 支援

支援員 高瀬 大介

今回の研修では、障害者総合支援法の見直し改正について行政説明があり、今後はサービスの質が今まで以上に問われていく時代であるとの話がありました。

平成30年4月の障害者総合支援法の見直しに伴う障害福祉等サービス報酬改定の影響、障害福祉計画、介護保険法改正があります。現状、障害福祉サービスの予算について国と地方を合わせると2.5兆円規模であり、伸び率も9.5%と増加傾向で、注目が集まっている事を話されていました。今後、障害者総合支援法の改正にも事業所の情報の開示が含まれており、私たち自身もサービスの提供を明確にする必要性がある事を学ばせて頂きました。また、65歳で障害福祉サービスを受けている障がい者は介護保険サービスへ移行しなければならず、自己負担が増えたり、サービス内容が変わり別事業所（障害福祉サービス事業所→介護事業所）へ移ら

なければいけない問題も介護保険法の改正で今後は、共生型サービス事業所という障害児者や高齢者を受け入れる事が出来る事業所の指定がある事を話されました。今後はこの指定が増え、65歳間題の解消に繋がればと思います。

また分科会では「生きる」を支えるという公演で、知的障がい者同士の結婚を事例から説明して頂きました。その事例では10年以上も仲睦まじく過ごされておられ、好きになった気持ちが変わらない、本当の家族というものを教えていただきました。当初は家族の反対などもあった事、それに対し2人の気持ちを確かめ施設が全面協力という形でサポートした事など話しを聞きました。順風満帆という夫婦生活ではなく、病気の時、さびしい。思いなどを乗り越えて来られ「今が楽しい。」と日々話されるとの事でした。入所施設も一つ屋根の下で暮らしている為、大きな意味での「家族」と成り得ると思います。その中で私達職員が利用者信じ、サポートしながらどれだけ利用者の方の楽しみが増やせるかを常に考えて行きたいと思いました。

愛藍ピック（5月）



ボウリング大会（6月）



ドライブ・旅行（6・7月）



😊😊 ニコリホットレポート 😊😊

「ニコリホット」とは、日々の利用者さんの生活の中で、思わず「にこり」と笑顔になったり、「ホット」と安心できるようなポジティブな出来事。そんな心温まるエピソードをご紹介します。

利用者さんが食堂の入口に近づくと、ガラガラッと入口の引き戸が開き、のれんがきれいに上にあげられます。最近の食堂入り口での光景です。さくら棟のNさんは入口付近に立って、ドアガールばりの働きをされています。Nさんのドアガールはいつからともなく始まっていました。最初は入口付近に立っていたNさんに職員が「戸をあけてもらえませんか？」とお願いしたのが始まりだったのかもしれませんが、それからほどなくして、Nさんのドアガールとしての活躍が始まりました。早い時間帯で食事を摂られる利用者さんが食堂入口に近づいてくると、さっと戸を開けて、垂れ下がったのれんを入れる人の顔にかからないよう綺麗にまとめ持ち上げてくださいます。なかなかスムーズな動き！さすがです！Nさんの寮での楽しみの一つはなんといっても食事。「今日のめしはなんかな？」「飯はまだですか？」お腹がすいてくるころには必ずのように職員に話しかけられています。食事時間前の食堂周りには数名の利用者さんが中をのぞき込んだり、そろそろかな～と楽しみに待たれていて、Nさんもその中の一人です。どうせ待っているのならと待ち時間でのボランティアをすすんで行われているNさん。今日もドアガール宜しくお願いします！

(松下加津美)



🌀 なんかい日記

当施設本館建替え工事に伴い、課題のひとつとして「職員駐車場の確保」が挙げられましたが、地域住民の方々のご協力をいただき、施設から500m程離れた所に1箇所と、1km程離れた所に1箇所の計2カ所を駐車場として整備させて頂きました。

駐車場整備以降、毎日恒例となっているのが「朝歩行」です。職員が駐車場から施設までの通勤を「朝歩行」と称し、運動不足解消のため、バスの停留所から歩いて通所されるグループホーム入居者と一緒に朝の歩行を毎日欠かさず行っています。

県道を歩きながら丘の上の施設に目を向けると、日々完成へと近づく様子を眺める事ができるのも楽しみのひとつです。距離は短い様に感じますが、最後には南海寮名物「心臓破りの坂」が待ち構えており「よいしょ。よいしょ」の言葉がこだましながら登っています。現在では「やせたよ」と歓喜の声も！その天使の囁きに「私もやせたい」と便乗した職員も増えました。しかし、駐車場には職員送迎車という甘い誘惑が…「今日は甘えようかな」と誘惑にのってしまいそうですが「やっぱり歩こう！」そんな葛藤を尻目に、送迎車には毎日決まって肥満隊が乗車…。「やっぱりですか」と内心笑いつつ「継続は力なり」ですね。

(大中 佑介)



施設本館建替え工事進捗状況

基礎工事が終わり、骨格が組み上がると、建物のおおまかな全容が見えてきました。期間中、台風や大雨もありましたが、大きな被害もなく順調に工事が進んでおり、予定通りの竣工となりそうです。利用者さんの関心も日々高まっている中で、居室割りの話題やルームシェア、その他いろんな要望が聞かれているところです。それぞれの意向をお聞きしながら、皆さんが気持ちよくリニューアルを迎えられるよう準備を進めていきたいと思っております。



※スケジュールは予定

通所センターだより



毎年恒例のそうめん流しを7月21日（金）に開催しました！この日はEさんの50歳の誕生日でもあり、ハッピーバースデーの歌でスタートしました。

今回初めて事前準備に参加し、竹の選び方・切り方・割り方を先輩職員に教えてもらう事ができ貴重な体験ができました。あえてチェーンソーは使用せず、10m以上の長さの竹をノコギリで切り、鉋で竹割りを行った結果…次の日は全身筋肉痛（笑）これもいい思い出です。

今年は準備から飛び入り参加の近所の小学生や利用者の妹さんの参加もありました。去年よりも竹の長さを伸ばしたり、高い位置からでも食

べれるように立食席を設けたりと利用者さんに楽しんでもらえるよう工夫してみました。また、そうめん流しを行う前に夏の定番「スイカ割り大会」を実施しました。利用者さん、小学生、職員も一緒になって行い、自分の勘を信じスイカへ向かう人、一発でスイカを割ることが出来た人、スイカに背を向けて後ろから狙いチャレンジする人…などなど。とても盛り上がりました。

そうめん流しもスイカ割りもたくさん笑顔や笑い声が飛び交い、良い夏の思い出になりました。さ～て来年はどんな工夫をしてみよ～かな～♪皆さんお楽しみに！

京塚 香菜

職員研修会等参加報告

- ビジネスマナー研修（5月） 瀬崎
- 知的障害者の高齢期支援を考える研修（5月） 金子史
- 中堅職員キャリアアップ研修（6月） 金子恵
- 人権同和事業主等研修（7月） 中嶋
- 地域包括ケアシステムシンポジウム（7月） 原田
- 障害者雇用セミナー（7月） 松浦光
- 九州地区知的障害者施設職員研修（7月） 中野、高瀬
- 初任者キャリアアップ研修（7月） 和田

今後の予定

- 8月3・4日 本渡中学校ワークキャンプ
- 8月5日 天草ほんどハイヤ道中総踊り
- 8月10日 物故者参り

編集後記

海産物などに付着する寄生虫は体内で嘔吐や激痛を引き起こすと言われており、今年に入ってから被害を訴える芸能人が続出。バラエティ番組で取り上げられ、一躍社会的な関心集めた「アニサキス」。感染理由として、アニサキス幼虫が寄生している生鮮魚介類を生（不十分な冷凍又は加熱のものを含まず）で食べることで、アニサキス幼虫が胃壁や腸壁に刺入して食中毒（アニサキス症）を引き起こすとの事です。加熱は60℃で1分間、70℃以上で瞬時に死滅し、冷凍は-20℃で24時間以上冷凍すると感染性が失われるそうです。

夏休みやお盆で刺身や寿司を食べる機会が多くなるこの時期、充実した休日を過ごせるよう皆さんお気を付けてください（〇）

kana

平成28年度 資金収支計算書（単価：千円）

勘定科目		予算	決算	差異	
経常活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	369,451	369,178	273
		経常経費寄付金収入	60	60	0
		受取利息配当金収入	107	110	-3
		その他の収入	4,062	3,962	100
		事業活動収入計	373,680	373,310	370
	支出	人件費支出	238,526	228,504	10,022
		事業費支出	55,868	52,073	3,795
		事務費支出	24,187	22,504	1,683
		その他の支出	1,100	1,072	28
		事業活動支出計	319,681	304,153	15,528
事業活動資金収支差額		53,999	69,157	-15,158	
施設整備等による収支	収入	施設整備等寄付金収入	0	0	0
		施設整備等収入計	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	277,100	277,089	11
		施設整備等支出計	277,100	277,089	11
施設整備等資金収支差額		-277,100	-277,089	-11	
その他の活動	収入	積立資産取崩収入	262,550	262,549	1
		積立預金積立支出	37,000	37,000	0
	支出	その他の活動による支出	0	0	0
		その他の活動支出計	37,000	37,000	0
その他の活動資金収支差額		225,550	225,549	1	
当期資金収支差額合計		2,449	17,617	-15,168	
前期末支払資金残高		278,065	278,065	0	
当期末支払資金残高		280,514	295,682	-15,168	